

コロナ危機 あらためてハッキリしました

県政を転換し、命をまもる

保健所・県立病院・人員の強化を

この1年、新型コロナウイルスの感染リスクが高いなか、保健所や医療機関など職員は、献身的にコロナから県民の命を守っています。飲食店など事業者も営業自粛・時短要請に応え、感染拡大防止に協力しています。一方、県は「効率化」「行革」の名のもとに、保健所、県立病院などの人員を減らし、機能を後退させてきました。その結果、コロナ禍の現場をより疲弊させました。県の責任で十分なマンパワーを確保させましょう。

### コロナ感染対策の最前線にたつ保健所 20万人に1カ所を！

千葉県は、1994年、地域保健法制定を機に、県の保健所と職員を削減し、検査課も縮小しました。公衆衛生の要となる保健所を人口20万人に1カ所へ増やし、廃止した検査課を復活させるべきです。

保健所	1994年当時 県保健所18 他に千葉市（政令市）1 ↓ 県保健所13 他に政令市（千葉市）1、中核市（船橋・柏）2 (県保健所はマイナス5 現在、検査課がある県保健所は7)
	1994年当時の県保健所職員数 836人（18県保健所） ↓ 692人（政令・中核市を除く13県保健所） (県職員名簿をもとに団独自に調査)
保健師	人口10万人あたりの常勤保健師 全国平均 20.7人 千葉県 16.7人（マイナス4.0） 全国平均まで必要な常勤保健師数 252人（県と政令・中核市） (2020年7月の厚労省資料)

県立東金病院（191床）は廃止され、2021年度、コロナ患者を受け入れている県立佐原病院42床を削減します。2年後に、精神科医療センターと救急医療センターを統合する計画です。

県立の看護師養成学校を廃止し、衛生短期大学と医療技術大学校を再編して2009年4月に保健医療大学を開校した際、看護師の養成定員を160人も減少させました。2025年の看護師不足数は、最大1万4000人と推計されます。  
(2019年11月厚労省推計)



みわ由美  
(松戸市)



加藤英雄  
(柏市)